

歯っぴい

堀内歯科新聞

vol. 47

〒854-0001 読早市福田町 37-3

TEL 0957-21-5333

E-mail horiuchide_yoyaku@yahoo.co.jp

当院の携帯サイトです。
お手持ちの携帯電話より
ご覧頂けます。



こんにちは、院長こと堀内晃です。さて、今号のお題は、神経治療をした後の**コア（土台）**についてです。神経治療が終わった後、中に芯を入れておかないと中が空洞になり細菌の繁殖場所になってしまいます。また、竹のように中が中空だとやはり咬む力に対して抵抗力が弱く、破折してしまいます。

ですから、中には芯になる部分（コアと言います）が必要になるわけです。

現在の日本での保険治療で許されているコアは**メタルコア**と**レジンコア**、**ファイバーコア**です。

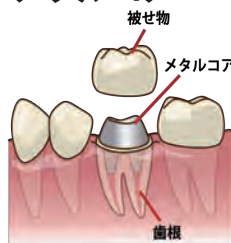


メタルコアは、銀合金を使用したコアですね。メリットとしては、歯の根っここの部分しか残っていない状態でもその部分を金属で補うことで歯を作り直すことが可能になります。

ただし、歯質と金属はしっかりくっついているわけではないので、咬み続けることで高速道路で整備不良のトラックのタイヤが飛んでいく事故の時のようにコアが**脱離**してしまうということです。結果として、歯の破折が起こりやすい素材なわけです。

レジンコアは、真鍮のピンをねじ込んで周りをレジンというプラスチックで固める方法です。メリットとしては、歯を余計に削らなくていいということがあります。難点としては、真鍮のピン自体貧弱で曲がりやすく、レジン自体も強度が不足しているため歯は取れにくいですが、いつの間にか、根っこの虫歯が進行しやすい素材でもあります。

メタルコア



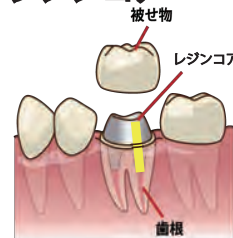
メリット

歯の根っここの部分でしか残っていない状態でも金属で補える

デメリット

脱離しやすい

レジンコア



メリット

歯を余計に削らなくていい

デメリット

根っこの虫歯が進行しやすい素材である

ファイバーコア



脱離しにくい
真鍮のように曲がらない

最先端！
最強の治療法！



マイクロ（顕微鏡）を使う様子

この難点を克服したのが、**ファイバーコア**です。ファイバーコアは、歯と同じようにしなめることができるため**メタルコア**より**脱離しにくく**また**レジンコア**の**真鍮**のように**曲がったまま**ということもありません。

ただし、現在保険で導入されているファイバーコアは肉眼で行い、ファイバーは一本であるため、かえって歯が折れやすいという難点があります。

当院で行っています顕微鏡を用いたファイバーコアは、世界中の歯科医師が行っているもっとも理にかなった方法で、顕微鏡で根っこの管の中を覗き込みながら、根っこの内側の表面に残っている汚れを徹底的に洗い流し、もっとも接着力が強い接着剤でたくさんのファイバーを接着させるためほとんど脱離ということがなく、一つの塊となります。ですから再治療というものがほぼ存在しないと言われています。そういった意味においても顕微鏡を用いたファイバーコアは最先端で最強の治療法とも言えますよ。